

3. 遺伝子材料の品質管理

提供時の品質管理

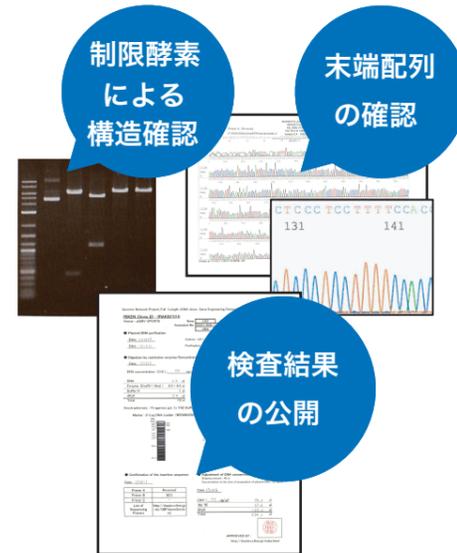
■ 実験の再現性を確保するため、寄託者から提供された情報に基づいて、遺伝子材料に応じた必要な検査を行っています。詳しくは、<http://dna.brc.riken.jp/ja/resource>をご覧ください。

例) プラスミド、並びにコスミドDNA

- ・寄託者により指定された培養条件下での組換え体の増殖能と薬剤耐性
- ・抽出 DNA の電気泳動による制限酵素切断パターン
- ・挿入遺伝子末端ならびにベクターの主要部分の塩基配列

例) 微生物ゲノムDNA

- ・吸光度によるDNA濃度 (A260)と純度 (A260/A280)
- ・アガロースゲル電気泳動像によるDNA濃度と断片化の有無
- ・PCRによる、16S rRNA遺伝子領域の増幅
- ・16S rRNA遺伝子領域の塩基配列



4. 提供手数料(税込み)について

	非営利学術目的	営利目的	
クローンおよび菌体	¥ 8,440/本	¥ 16,880/本	※ 「非営利学術目的」とは、「非営利機関」による、非営利学術研究のためのバイオリソースの利用です。
組換えアデノウイルス	¥ 32,700/本	¥ 65,400/本	※ 「営利目的」とは、営利機関での利用の他、提供手数料一覧に示した利用も含まれます。詳細は https://dna.brc.riken.jp/ja/teikyo/price をご参照いただきますようお願いいたします。
微生物ゲノムDNA	¥ 16,600/本	¥ 33,200/本	※ 2019年10月1日から提供手数料を改定いたしました。
マウスゲノムDNA	¥ 24,400/本	¥ 48,800/本	※ 別途送料が必要です。

5. 遺伝子材料の寄託について

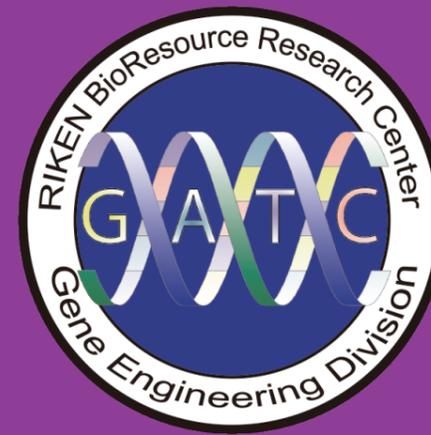


寄託のお願い

研究に使用し、論文発表された研究材料は、希望する研究者に分与することが求められています。研究材料を世界中の研究者と共有することで、研究結果が再現される機会が増加し、研究全体の精度の向上に繋がります。これは科学の発展のために必要なことです。DNA Bankでは、寄託された研究材料の品質検査を行い、国内外の研究者に送付します。寄託に際して、費用のご負担はございません。

RIKEN BioResource Research Center DNA BANK

遺伝子材料のご利用案内



Human cDNA collection
BAC clone
Genomic DNA
Recombinant Adenovirus
Fluorescent protein
CRISPR/Cas9
and more...

1. DNA Bankの事業

理化学研究所バイオリソース研究センター（理研BRC）

■ 2001年に設立され、「信頼性」、「継続性」、「先導性」をモットーに、バイオリソースを収集・品質管理・保存・提供する事業を展開してきました。バイオリソースは、生物遺伝資源とも呼ばれ、生命科学に不可欠な研究材料です。また、国民生活に直結した研究開発にも必要です。当センターでは、実験動物のマウス、実験植物のシロイヌナズナ、ミナトカモジグサ、ヒト及び動物細胞、微生物およびこれら由来の遺伝子に焦点を当て、事業を展開しています。

DNA Bank

■ ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) 「遺伝子材料」の中核機関として、ヒト、動物および微生物由来の重要かつ有用なcDNAクローン、発現ベクター、ゲノムDNA等の遺伝子材料を国内外の研究コミュニティから収集し、厳格な品質管理を行い、国内外に提供しています。



2. 遺伝子材料の提供手順

[STEP1 遺伝子材料の検索]

検索窓を利用

■ DNABankホームページ (<http://dna.brc.riken.jp/ja/kensaku>) では、キーワード検索、遺伝子の一覧表、トピックスの一覧表を利用し、リソースを検索することができます。

KEGGを利用

■ KEGG (Kyoto Encyclopedia of Genes and Genomes) の遺伝子のページから、ヒト、マウス、分裂酵母の遺伝子材料のデータシートにアクセスできます。詳しくは、<https://dna.brc.riken.jp/DataSheet/GRP0001j>をご覧ください。

PubMedを利用

■ PubMedから、オリジナルあるいは利用成果文献で使われた遺伝子材料のデータシートにアクセスできます。「LinkOut」とナショナルバイオリソースプロジェクト文献データベースのリンクを利用した機能です。詳しくは、<https://dna.brc.riken.jp/DataSheet/GRP0020j>をご覧ください。

■ リソース検索のお手伝いをいたします。 ■

ご希望の遺伝子材料の用途、由来生物と遺伝子名、参考となる文献などの情報をメールでお知らせください。E-mail: dnabank.brc@riken.jp

[STEP2 申込書類の記入と送付]

申込書類

■ 申込書類には、**必須書類** [遺伝子材料提供依頼書、生物遺伝資源提供同意書 (MTA)] と **追加書類** [提供承諾書、遺伝子組換え実験承認書など] がございます。詳しくは、<http://dna.brc.riken.jp/ja/teikyoku> をご覧ください。

書類の送付先

■ 書面をカラースキャンしたPDFをE-mailにてお送りください。紙面で公印またはサインが必要な場合は、後日、原本2部をご郵送ください。

■ 書類の送付先、書類についてご不明な点は、遺伝子材料開発室までお問い合わせ下さい ■

〒305-0074

茨城県つくば市高野台 3-1-1 理化学研究所バイオリソース研究センター 遺伝子材料開発室

E-mail: dnabank.brc@riken.jp

TEL: 029-836-3612 (平日の 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00)

FAX: 029-836-9120

[STEP3 遺伝子材料の発送]

提供時の品質管理

■ 実験の再現性を確保するため、寄託者から提供された情報に基づいて必要な検査を行っています。検査には、およそ2週間のお時間をいただきます。発送前検査については [3. 遺伝子材料の品質管理](#) をご参考ください。

発送形態

■ プラスミドDNA並びにコスミドクローンは、Tris-EDTAバッファーに溶かしたDNA溶液 (25 ng/μl : 40 μl) として、室温で送付します。

■ ゲノムライブラリーのBAC、YAC、P1、フォスミド、コスミドの各クローン、並びに宿主微生物は、寒天培地に穿刺培養 (agar-stab) した組換え体として、室温で送付します。

■ 組換えアデノウイルスは、感染細胞の破砕溶液 (約 10^{6-8} pfu/ml のタイターのものを0.1 ml) として送付します。

■ ゲノムDNA は、Tris-EDTAバッファー に溶解し、50~100 ng/μl の濃度で、微生物由来は 1 μg、マウス由来は10 μgをドライアイス詰めで送付します。エタノール沈殿を室温でお送りすることも可能です。

[STEP4 提供手数料の請求とお支払い]

お支払い方法

■ 銀行振り込みによるお支払いをお願いいたします。請求書は、遺伝子材料発送の約1週間後に郵送いたします。